

国民運動としての食育活動の推進

食育を国民運動として展開することにより、国民一人一人が「食」について改めて意識を高め、「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を養成。

7,912(5,600)百万円

1 ポイント

近年の食生活の乱れや食の安全・安心に関する様々な問題を踏まえ、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むため、食育を関係府省、都道府県等の関係機関、民間団体等との連携の下に国民運動として展開し、バランスのとれた食生活の普及・定着や食の安全・安心についての普及・啓発を実施。

2 施策の内容

国民運動としての食育活動の推進

〔 食の安全・安心確保交付金 4,287(0)百万円の内数
　　にっぽん食育推進事業 800(0)百万円 〕

我が国の食料消費に関する理解の増進とそれを踏まえた食生活の見直しを推進するための「いただきます！にっぽんの食」キャンペーンや「食を考える月間」を中心とした国民的な食育推進体制を整備。

食育推進ボランティアの活動を中心としつつ、体験や地産地消を通じた食への理解の増進等地域の特性を活かした食育活動を支援。

3 関連施策の推進

(1) 食や農林水産業における体験活動の推進

〔 強い農業づくり交付金 64,330(0)百万円の内数
　　元気な地域づくり交付金 59,157(0)百万円の内数
　　強い水産業づくり交付金 19,272(0)百万円の内数
　　その他 1,878(1,411)百万円 〕

食や農林水産業に関する様々な体験の機会を提供することにより、食や農林水産業への理解や食に対して正しい選択をできる能力を養成。

(2) 学校給食等を通じた啓発活動

〔 強い農業づくり交付金（前掲）
　　その他 4,553(3,613)百万円 〕

給食における米飯や牛乳の供給の支援など、日常的な学校生活の場における生きた教材を通じて、子どもたちの食に対する理解と関心を醸成。

(3) 食に関する様々な情報提供や相互交流の推進

〔 食の安全・安心確保交付金（前掲）
　　強い林業・木材産業づくり交付金 10,455(0)百万円の内数
　　その他 681(577)百万円 〕

食品の選び方などについての理解を深めるための様々な情報提供を推進するとともに、「顔の見える関係づくり」等、食と農の距離を近づけ、消費者の安心と信頼を確保するため、食の安全・安心に関する消費者と生産者等との相互交流を促進。

食の安全・安心確保交付金等、交付金の計数は、予算額の合計に含まない。

[担当窓口課：消費・安全局消費者情報官（03-3502-5723（直））]

国民運動としての食育活動の推進

課題：健全な食生活の実践、食料自給率の向上

「いただきます！にっぽんの食」キャンペーンの展開

- ・コメを中心とした日本型食生活の実現を図るため、全国的なマスメディア等多様な情報媒体を積極的に活用した情報の発信
- ・「日本版フードガイド（仮称）」を活用した食生活指針の普及・啓発
- ・フードチェーン全般における食育の推進
- ・対象特性に応じたきめ細かい普及啓発情報の提供
- ・適切な食品選択に資するよう、食品の安全性に関する基礎的情報の提供

にっぽん食育推進事業

「食を考える月間」（毎年1月）に

おける全国的な食育活動

- ・「食を考える国民会議」による食育に関するシンポジウムの全国的な開催
- ・「ニッポン食育フェア」の開催

多様な食育活動への支援

- ・民間団体が行う食育活動への支援
- ・「食育コンクール」による優れた取組の顕彰
- ・食育の多様な実践方策に関する実証的な研究活動の実施に対する支援

国民一人一人が自らの食について考え、判断する能力の養成

食育推進ボランティアと育てる食

- ・農林漁業者、食品事業者、消費者、食文化研究家など様々な分野において専門的な経験を有する方々により構成
- ・ボランティアの資質を更に向上させるとともに、食育推進ボランティアによる活動を一層推進

ゆたかさ発見食育実践対策

地産地消でつくる食

- ・学校給食における地域農産物の利用促進のための目標及び方向性の検討、給食事業者と生産者との連携の促進等に対する支援
- ・地域の食材について消費者と生産者の意見交換の場づくりの支援

体験からわかる食

- 体験の場を通じて食料の生産過程や食の安全についての理解促進を図る
- ・食文化継承タイプ
 - ・食の安全・安心確保タイプ
 - ・生産・食卓連携タイプ
 - ・環境配慮タイプ

課題：地産地消の推進

課題：食の体験学習の推進